

地域とのパートナーシップづくり

勝山市立勝山北部中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	12回
地域及び家庭への学校公開	8回 (のべ)8日

(2) 地域の人材活用

講師・ゲストティチャー	16人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	25人
登下校支援ボランティア	0人
その他 (部活動指導者)	4人

(3) 特色ある活動

テーマ 地域に発信しよう

1 地域の活動に生徒を押しだそう

今まで地域の運動会には生徒の参加はずいぶん増えてはきていたが、まだ参加率も意識も低かった。地域学校協議会でそのことをもう一度確認し、地域の行事に生徒が進んで参加できるように話し合った。地域学校協議会のメンバーは、地域のリーダー的な人が多いので、その方たちに間に入ってもらい、地域の会議の時に中学生の参加を応援してもらうことにした。



参加率 1年 94% 2年 80.4% 3年 94.4%
 荒土地区 93.7% 北郷地区 83.9% 鹿谷地区 89.5%

2 計画

- (1) 地域の運動会への取り組み
- (2) 地域の文化祭等への取り組み

3 地域の運動会への取り組み

勝山北部中は3地区の小中学校が集まってきた中学である。今までも少しずつ地区の運動会に参加をしてきたのだが、今年は運動会にもっと入りやすいように地域学校協議会の人に地域での応援を頼む。

- 1 役割を与えられるようにする。
 - 2 競技に参加できるようにする。
 - 3 だれでも出られる競技を増やす
- 等の取り組みをお願いした。学校でも担当より、地域に分かれて役割の確認等を行い参加しやすいようにした。

当日は校長、教頭、教務の3人が分かれて開会式より参加するので、そこでもう一度地域の方をお願いすることにした。運動会の終わったあとに参加率をとると、大変高い結果になった。また地域の方から、中学生が参加してくれてありがたいという言葉があった。

4 地域の文化祭等への取り組み

① 荒土地区の文化祭への取り組み

地域学校協議会の荒土のメンバーの方に、文化祭へのお手伝いと同時に発表も入れさせて欲しいとお願いした。最初は「今の地区の文化祭はかたい発表はない。」「場所が狭いから」ということで難しそうであった。しかし、「文化祭に文化の香りが無いということなら、変えれば良いのではないか。」という意見を言ってくれる委員さんもあり、強力に生徒の発表等を入れることをお願いした。当日は「1年生の環境の発表」2年生の「ごみの発表」を行った。また吹奏楽部の演奏と3年生のお手伝いが行われ、生徒と一緒に保護者の参加も多く、大変盛況な会となった。



② 鹿谷雪祭りへの取り組み

雪祭りには総合で取り組んだものを発表させて欲しいと、地域学校協議会の方に、地域への橋渡しをお願いした。公民館の主事さんとも連携をとりながら、吹奏楽部の発表と1年生のお手伝い、そして2年生の「鹿谷町雪祭りへの提案」の3つを行うことに決まった。

当日は1年生がたくさんお店のお手伝いをしていた。ゲーム屋さん、食べもの屋さんなどいろいろな地域のお店のお手伝いをしていた。

吹奏楽部は地域の祭を盛り上げるために、県警察音楽隊とのコラボレーションを企画し、前の週から合同練習をはじめ雪祭りに備えた。

2年生の総合の発表は、「雪祭りの魅力を高め、元気で活気ある町にする」をテーマに、「雪祭りを通して、地域を離れる若者を減らし、多くの入場者でにぎわうようにするため」の5つの提言を発表した。

5 成果と課題

○地域学校協議会の方と共に、地域に生徒を押し出す、地域へ学校の総合学習でえたものを発信していくことはできてきたように思う。地域学校協議会の方に、学校評価だけでなく、いろいろな形で学校を見てもらいアドバイスをいただけたことも良かったと思う。

○3つの小学校校区のうちの、北郷地区とはまだ運動会の面でしかつながりがないので、来年度は文化祭等に学校の生徒の関わりができるようお願いをしている。中学校としては、年に2度ぐらいの関わりしかとれないかもしれないが、地域行事に積極的に関わるのが「故郷を愛する」「故郷に住もう」という原動力になると信じている。これからも地域に育てられ、地域を愛する生徒を育てていきたい。